

屋外用高性能薄型UHFアンテナ 地デジアンテナ 水平偏波受信用/強・中・弱電界地区向け



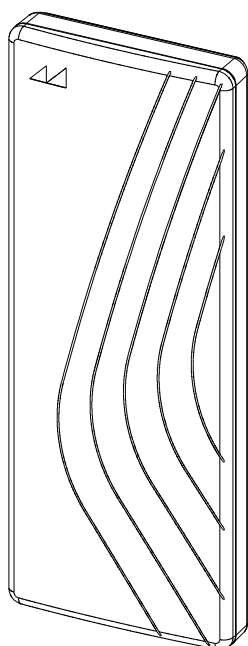
Model
UDF26(W)ホワイト
UDF26(B)ブラック
UDF26(T)ブラウン

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。



DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、一般社団法人電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有するUHFアンテナ、UHF帯域（ch13～ch52）に対応したブースタに付与されるシンボルマークです。

外 観



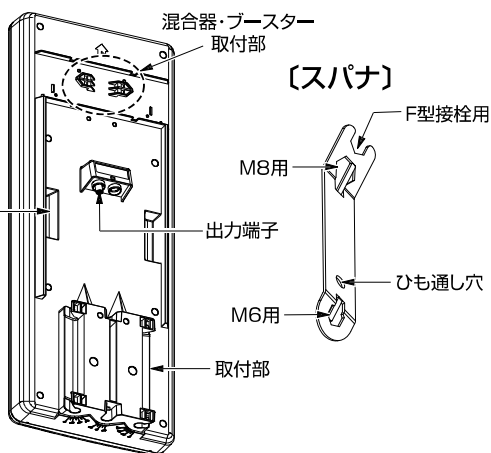
製品情報は
こちらから



※このアンテナは水平偏波受信専用です。

各部の名称

〔裏面〕
アンテナ本体



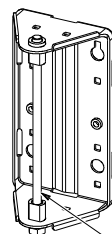
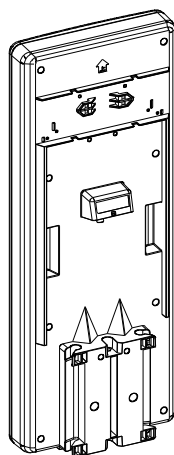
同梱品

下記の部品が同梱されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

アンテナ本体

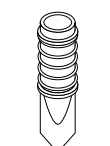
取付金具A

取付金具B

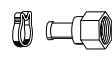


六角ボルト（M8）
平ワッシャ
スプリングワッシャ 組付済

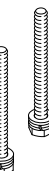
座金組込
六角ボルト（M6）2本



防水キャップ



F型接栓（5C）



スパナ



取扱説明書

お客様へ

アンテナの取り付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、必ず専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般指示）が描かれています。

警告

送電線・配電線・電話線の近くに設置しない。 ●火災・感電の原因となります。	アンテナや金具にぶら下からない。乗らない。 ●けがや落下事故の原因となります。	指示 ●ボルト・ナット、ねじは確実に締める。 ●ゆるみがあると、機器や工具が落下してけがの原因となります。 ●締め付けトルクが指定されている場合は、その指定のトルクで締め付けてください。
危険な場所に設置しない。 ・転落の危険性がある場所 ・強度不足な場所 ・人の通行の妨げとなる場所 ●けがや落下事故の原因となります。	接触禁止 雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。 ●感電の原因となります。	
悪条件で作業しない。 ・天候の悪い日 ・暗いとき ・足場の不安定な場所 ●けがや落下事故の原因となります。	指示 作業時は落下防止対策をおこなう。 ●機器や工具はひもで結ぶ、ネットを張るなどして落下防止対策をおこなってください。機器や工具が落下してけがの原因となります。	指示 ●高所作業は専門業者に依頼する。 ●けがや落下事故の原因となります。 指示 ●梱包袋・シートは子供の手の届かないところに置く。 ●あやまって頭からかぶると窒息し死亡の原因となります。

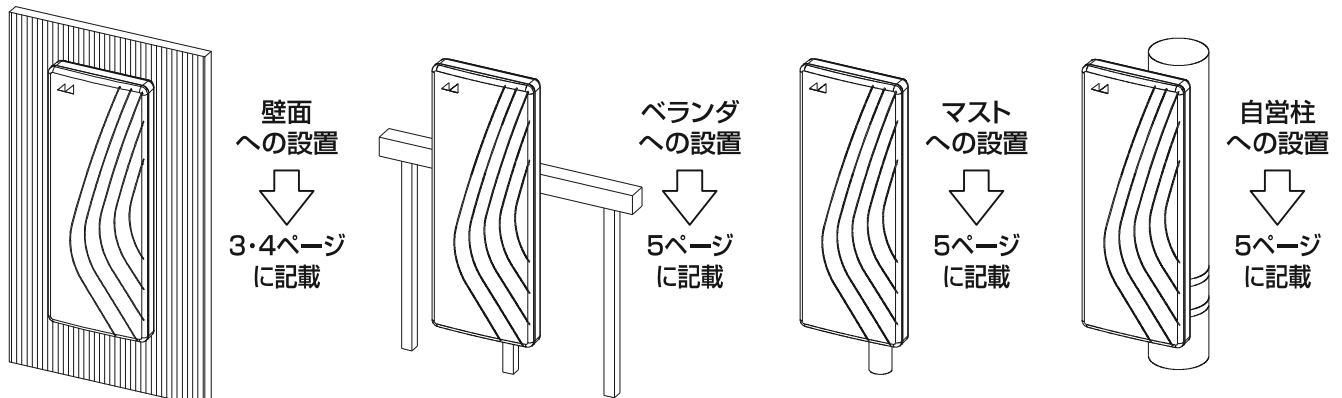
注意

禁止 アンテナや金具に洗濯物を下げない。ボールなどをぶつけない。 ●機器が落下してけがの原因となることがあります。	分解禁止 分解したり、改造したりしない。 ●けがの原因となることがあります。点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	禁止 悪条件の場所に置かない、設置しない。 ・不安定な場所 ・油煙や湯気の当たる場所（換気扇付近など） ・温度の高くなる場所（煙突付近など） ・温泉地や有害ガスの発生する場所 ●機器が落下して、けがの原因となることがあります。
指示 台風、地震、落雷、降雪などの後は、点検をおこなう。 ●ゆるみや異常があると、機器が落下してけがの原因となることがあります。	指示 壁面取付使用時は十分な強度がある壁面に取り付ける。 ●壁面の強度が不足していると、機器が落下してけがの原因となることがあります。	
禁止 インパクトドライバーを使用しない。 ●ボルトが破損する可能性があります。		接触禁止 同軸ケーブルの芯線に触れない。 ●指に刺してけがの原因となることがあります。

事前確認

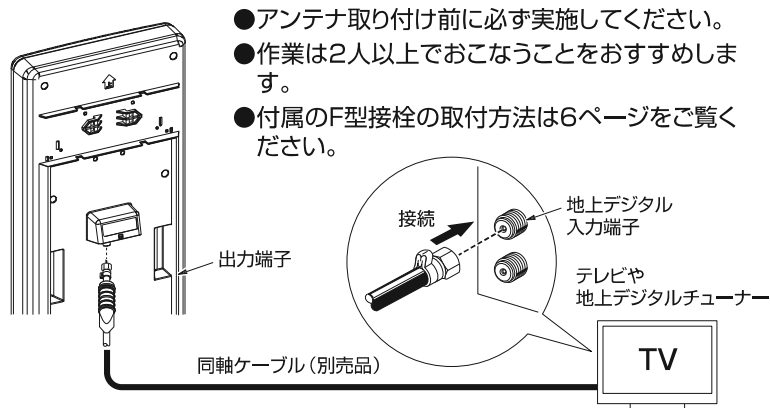
1. アンテナを設置したい場所を選定します。

●送信所の方向に大きな建物や近接した住宅、樹木などの障害物がない場所を選んでください。



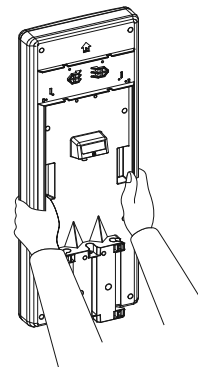
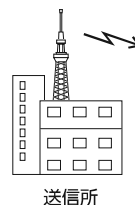
2. 受信テストをおこないます。

①アンテナとテレビを同軸ケーブルで接続してください。



②送信所の方向にアンテナを向けてください。

- 設置したい場所から受信ができるかを確認します。
- アンテナを手で持って送信所の方向に向けてください。
 - ・受信面(表面)を持たないでください。
 - ・送信所の方向はご近所のアンテナの向きが参考になります。

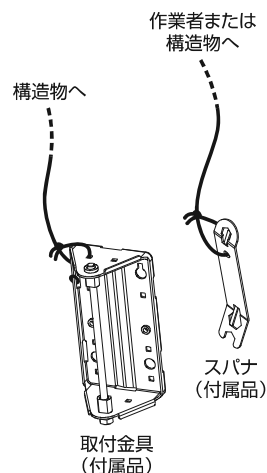
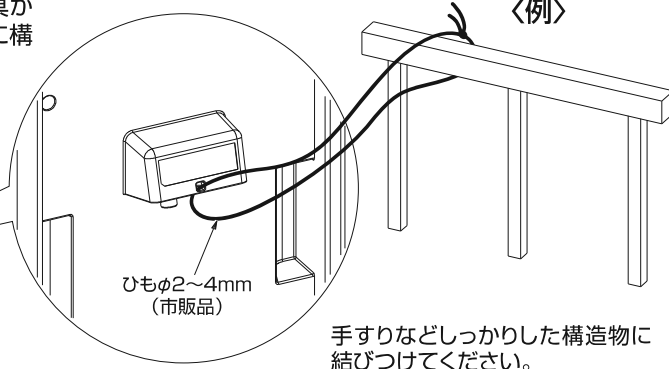
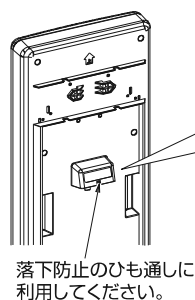


③テレビが映ることを確認してください。

- 希望される全てのチャンネルが映ることを確認します
 - ・映らない場合は、アンテナの位置や向きを変えたりしてみてください。
 - ・送信所の方向がアンテナの向きと異なるチャンネルは映りません。
 - ・新たにテレビを購入した場合や転居された場合は"チャンネル設定"をおこなってください。

アンテナの取付

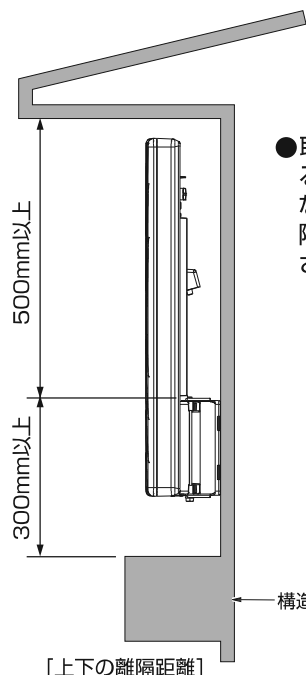
- 作業中にアンテナ本体や金具、工具が落下しないように、ひもなどで事前に構造物などにつないでください。



1. 壁面への設置

使用する部品：取付金具A、取付ねじ(市販品)

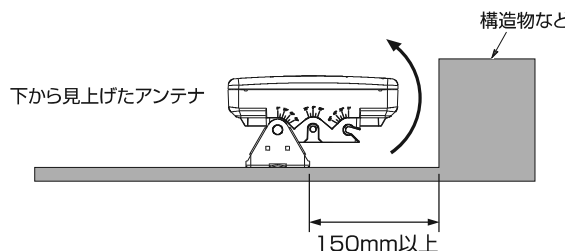
⚠警告 金具やアンテナ本体を上下逆さまに付けたり横向きの設置は絶対にしないでください。落下や故障の原因になります。



- 取付金具Aを取り付ける際は、周辺の構造物などから図に記載の離隔距離を確保してください。

- 取り付ける壁面は十分な強度があることを確認して、適正なねじの種類や長さを決めてください。

⚠注意 ねじ締めがしっかりされていないと風などの影響でアンテナが落下する場合があります。



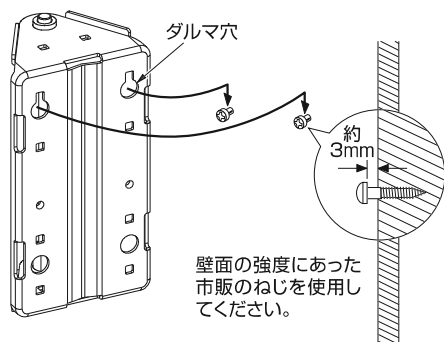
[横の離隔距離]
(上図は左側の溝にアンテナを取り付けた場合)

- ・左側の溝にボルトを差し込んだ時、アンテナは左に回転できます。
- ・右側の溝に差し込んだ時、アンテナは右に回転でき離隔距離は反転します。

①木ねじなど2本を最初に壁面へ取り付けて
取付金具Aのダルマ穴に引っ掛けます。

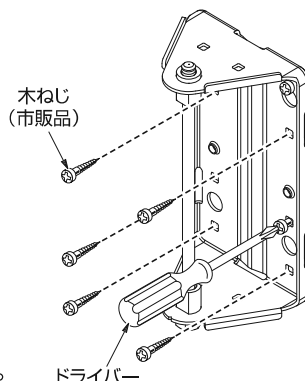
②取付金具Aを引っ掛けたら、金具に傾きが
ないことを確認して8本全てのねじでしっ
かりと金具を取り付けます。

●取付金具Aが垂直に付くようにねじの位置を
正確に定めてください。

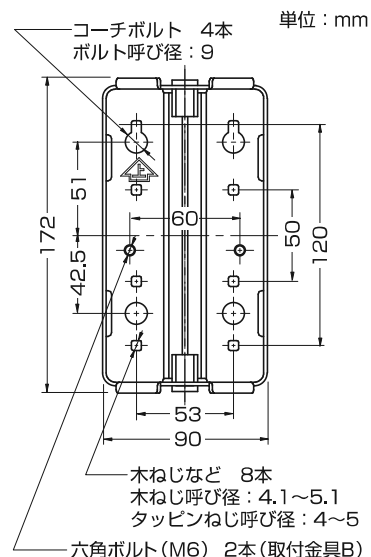


●コーチボルトを4本使用でも固定できます。

●ねじ穴の隙間に
防水処理を施し
てください。



取付金具Aの穴位置図

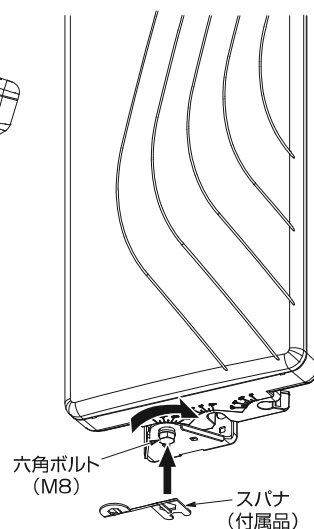
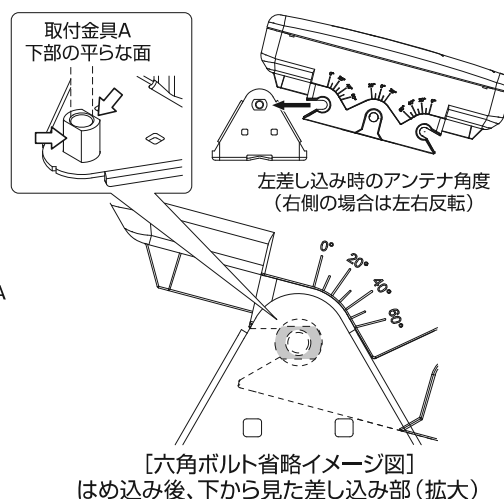
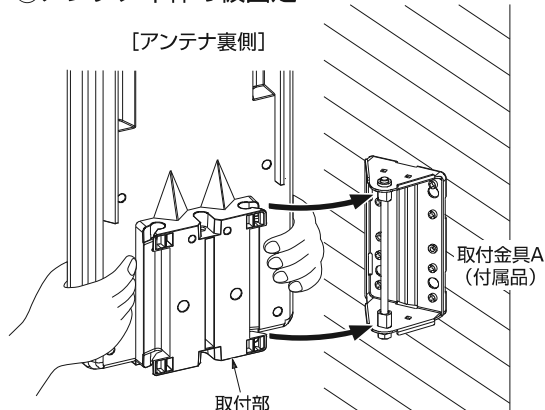


ポイント 傾きがないように水平器 (市販品) などを確認することをお勧めします。

③アンテナ本体の取付

アンテナを向ける方向に合わせて左右の溝を選択して取付金具Aに取付部を差し込みます。

④アンテナ本体の仮固定

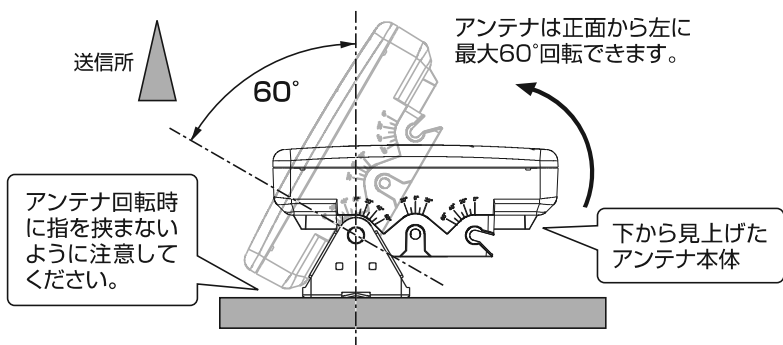


●取付部の両側を持って、取付金具Aのボルト上下にある平たい面とアンテナ本体
の取付溝を平行にして溝の奥までしっかりと差し込んでからアンテナ本体を回転
させると固定されます。(取りはずす場合は挿入と逆の手順となります。)

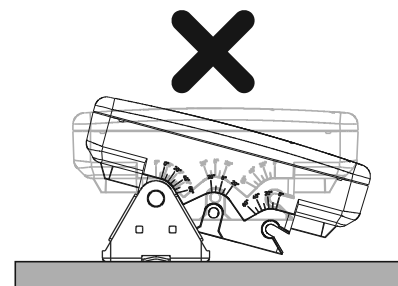
アンテナを手で回転できる程
度に六角ボルト (M8) を仮締
めします。

○左右取付溝の選択 [取付溝左側の場合]

・送信所に向ける側の溝に差し込みます。
(送信所が正面の場合はセンター穴に取り付けます。)



・右側の取付溝に取り付けた場合は、左右が逆になります。



警告 取付溝と逆側へ回転させる取
り付けは絶対におこなわない
でください。アンテナが落下
する恐れがあります。

2. ベランダへの設置

使用する部品：取付金具A、取付金具B、六角ボルト (M6) 2本

●取付金具Aを角柱に取り付ける

●適合角柱

25×25～45×45mm

●ボルト締付トルク

M6 4.7～5.1N・m

●送信所が格子に対して正面方向にあるときはアンテナ本体をセンター穴に取り付けることができます。

上下を正しくつけてください。
刻印  があります。

六角ボルト用穴

六角ボルト (M6)

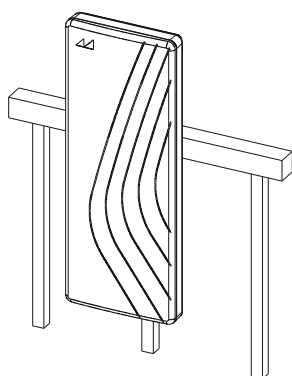
取付金具A

●六角ボルト (M6) は左右均等に締めてください。

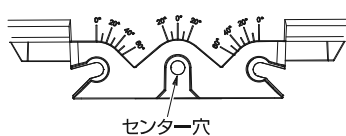
ダルマ穴に引っ掛けて、六角ボルトを締める。

取付金具B

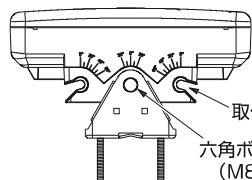
スパナ (付属品)



○センター穴取付方法



センター穴



取付溝
六角ボルト (M8)

【アンテナを下から見た図】

①取付金具Aの六角ボルト (M8) を緩めて下にずらし、アンテナ本体のセンター穴に下から挿入してボルトを締めてください。

六角ボルト (M8)

②方向調整は左右にそれぞれ20°向きを変えることができます。それ以上向きを変える場合は左右の取付溝に取り付けてください。

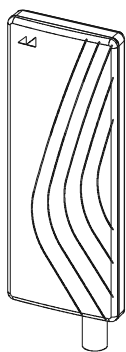
この位置でボルトは止まります。
六角ボルト (M8)

ポイント

取付金具はゆるみなどがなく十分な強度がある角柱 (格子) に取り付けてください。格子の傷つき防止のため、金具取付部に市販のゴムシートなどをあてることをおすすめします。ベランダ手すり用取付金具 (別売品) による取り付けも可能です。

3. マストへの設置

使用する部品：取付金具A、取付金具B、六角ボルト (M6) 2本



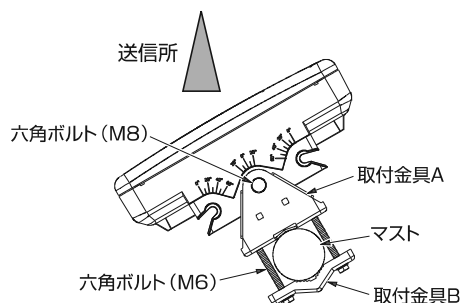
●取付金具Aをマストに取り付ける

取付方法は「2.ベランダへの設置」をご覧ください。

①取付金具Aを送信所に向くように取り付けてください。

②六角ボルト (M6) は左右均等に締め付けてください。

③六角ボルト (M8) をアンテナ本体のセンター穴に挿入して取り付けてください。(2.「○センター穴取付方法」参照)



送信所

六角ボルト (M8)

取付金具A

マスト

六角ボルト (M6)

取付金具B

●適合マスト

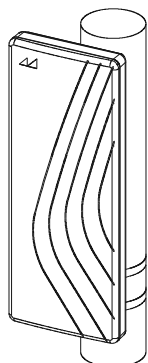
直径 25～49mm

●ボルト締付トルク

M6 4.7～5.1N・m

4. 自営柱への設置 (直径49mm以上のマスト)

使用する部品：取付金具A、ステンレスバンド2本 (市販品)



●取付金具Aを自営柱に取り付ける

①取付金具Aを送信所に向くようにステンレスバンド2本で取り付けてください。

②六角ボルト (M8) をアンテナ本体のセンター穴に挿入して取り付けてください。(2.「○センター穴取付方法」参照)

上下を正しくつけてください。
刻印  があります。

ステンレスバンド
幅10～20mm×2本

ステンレスバンド通し穴
(左右に2ヶ所)

マスト・自営柱など

●適合マスト

直径 49mm以上

ケーブルのつなぎかた

1. 同軸ケーブルの加工方法と接栓の取付方法

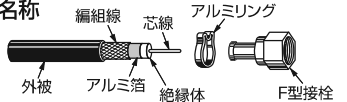
- ⚠注意** ●芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
●同軸ケーブルの加工は芯線や編組線をキズつけないようにご注意ください。また、接栓挿入の際に芯線が指に突き刺さらないようにご注意ください。

●ケーブルの加工方法 (5CFB)

◆用意するもの

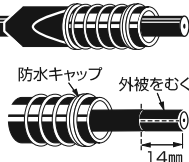
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



防水キャップは先に同軸ケーブルに通してください。

- ①** カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ②** 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



- ③** 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



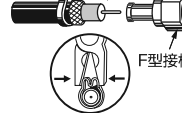
- ④** 編組線をめくりあげます。



- ⑤** 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

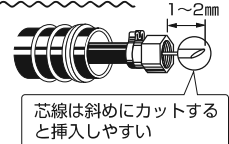


- ⑥** F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



4C、5CケーブルはF型接栓加工をした後でも防水キャップを通すことができます。

- ⑦** 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



ポイント

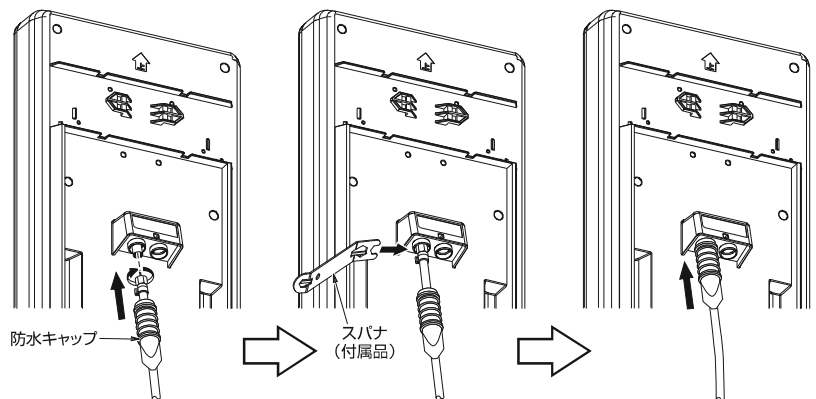
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
 - 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。
- (※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

2. 同軸ケーブルの接続方法

- 同軸ケーブルを出力端子に接続し、付属のスパナで接栓を締め付け、防水キャップを奥までしっかりと挿入してください。
- 防水接栓を使用される場合も付属の防水キャップを必ずご使用ください。

●F型接栓締め付トルク

2.0N・m



混合器・ブースターの取付

アンテナの裏面に当社指定の混合器やブースター（別売品）を取り付けることができます

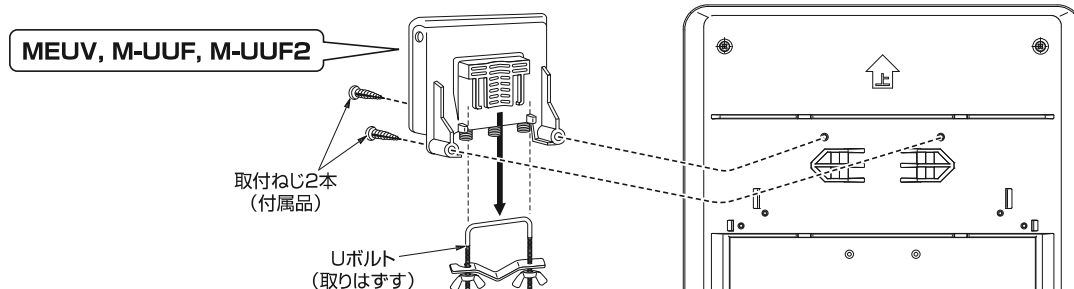
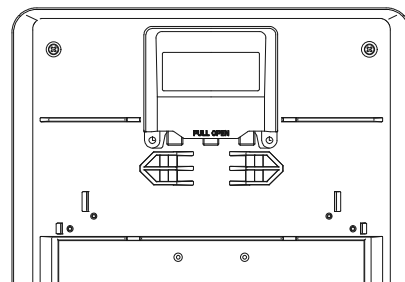
指定混合器： MEUV, M-UUF-SP, M-UUF2-SP

指定ブースター： NSB42DSUE(-BP), N42DU2(-BP), CSBE25C-BP

- 取り付ける機器はアンテナの取り付け前に同軸ケーブルをつないでください。(同軸ケーブル長：約450mm)
- 混合器はアンテナを取り付ける前に、混合器に付属のねじ2本で取り付けてください。
- ブースターはアンテナ取り付け後に側面の左右どちらからでも差し込んで取り付けることができます。(アンテナの受信角度を保った状態でブースターの調整がおこなえます。)
- 取り付け後にブースターの蓋を開ける場合はアンテナを左右どちらかに60°傾けてください。
- ドライバーが壁面に干渉してねじが締められない場合はアンテナを左右どちらかに60°傾けてからねじを締めてください。

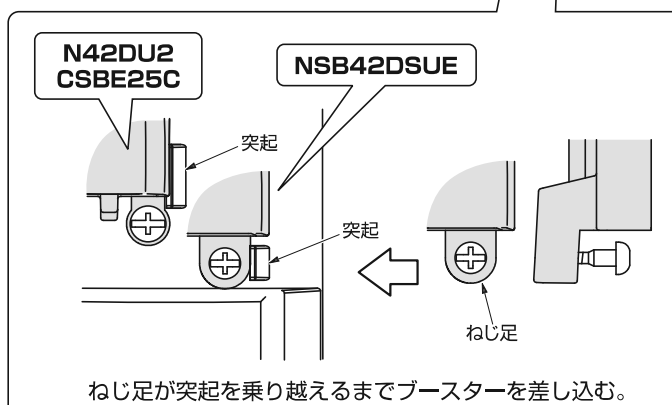
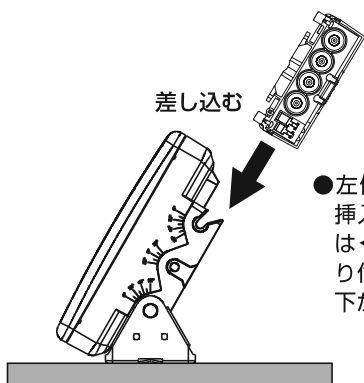
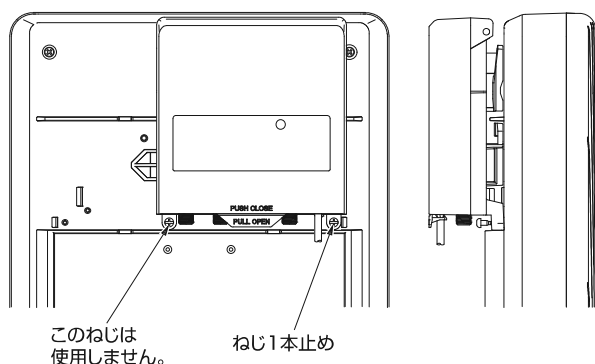
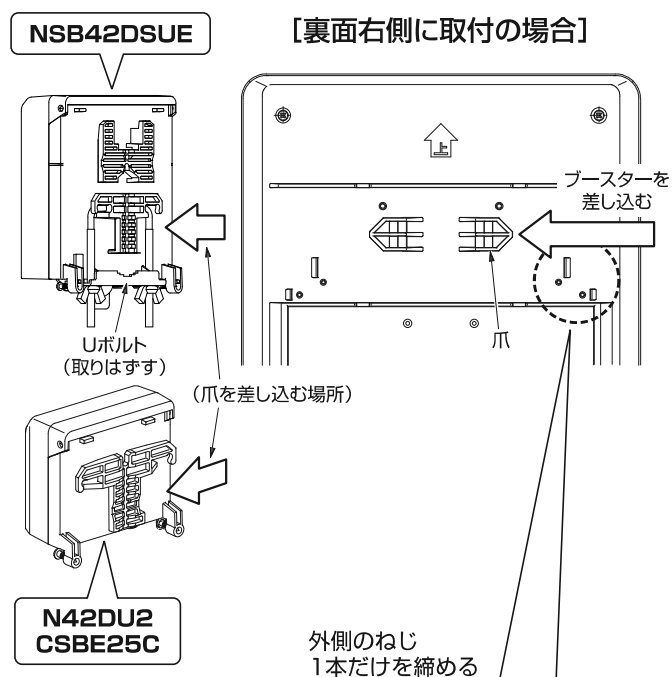
1. 混合器の取付（例：MEUV）

- ①混合器からUボルトを取りはずしてください。
- ②混合器を配置して混合器に付属のねじ2本で取り付けます。（アンテナ取付前に実施）
- ③混合器とアンテナを防水キャップを付けた同軸ケーブルでつなぎます。（アンテナ出力ー混合器入力ー混合器出力ー分配器・分波器・テレビなどへ）
- ④アンテナ本体を取付金具Aに取り付けます。（P.4～5参照）
- ⑤アンテナの方向調整をおこないます。（P.8参照）
（混合器の切り替えなどをする場合は、アンテナ角度を最大〔60°〕にひらいておこなってください。）



2. ブースターの取付（例：NSB42DSUE）

- ①ブースターからUボルトを取りはずしてください。
- ②アンテナの向きを調整した時、壁面との間隔が広がる方にブースターをスライドさせて爪に差し込んで仮付けします。
- ③ブースターとアンテナを、防水キャップを付けた同軸ケーブルでつなぎます。
- ④アンテナ本体を取付金具Aに取り付けます。（P.4～5参照）
- ⑤アンテナの方向調整とブースターの調整をおこないます。（P.8参照）ブースターを一旦爪からはずすと調整がしやすくなります。
- ⑥ブースターをスライドさせてねじ部の足が突起を乗り越えるまで差し込み、ブースターに付属のねじ1本（片側）を締めます。

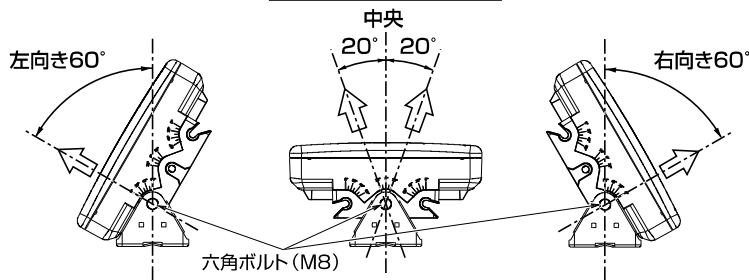


注意：ねじを締め忘れると風などの影響により、機器がはずれる可能性があります。

アンテナの方向調整

- テレビのアンテナレベル画面を見ながら、希望されるチャンネルの数字ができるだけ大きくなるようにアンテナの向きを調整してください。

アンテナを下から見た図



- アンテナの方向を決めたら、六角ボルト (M8) を基準の締付トルクでしっかり締め付けてください。

- ボルト締付トルク

M8 10~12N・m

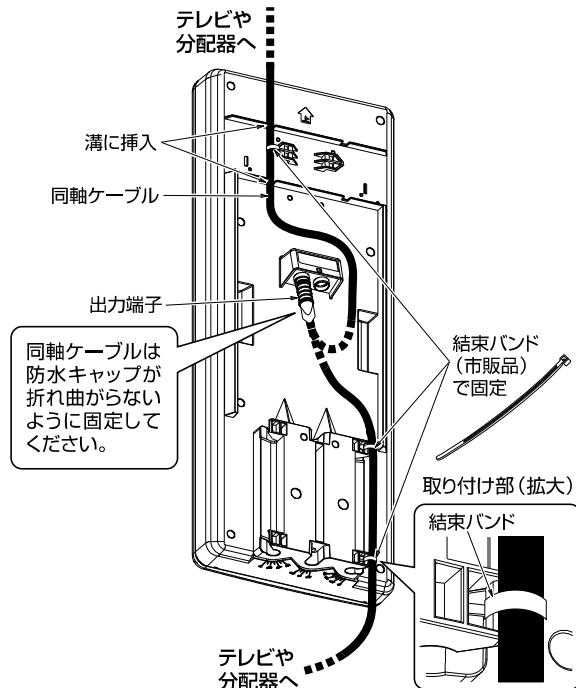
標準性能表

項 目	性 能
受信チャンネル (ch)	13~52
受信周波数 (MHz)	470~710
動作利得 (dB)	8.4~10.2
インピーダンス (Ω)	75 (F型)
VSWR	2.5以下
電力半値幅 (°)	65~85
前後比 (dB)	12~18
受風面積 (m ²)	0.149
耐風速 (m/s)	50 (破壊風速)
質量 (kg)	1.7 ※1
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)	620×240×94 ※1
適合マスト径 (mm)	マスト: φ22~49 角柱: 25×25~45×45

※1 アンテナ本体のみ (取付金具A:質量0.45kg)

ケーブルの固定方法

- 図のように結束バンド (市販品) などと同軸ケーブルを背面に固定してください。(取付金具やブースター、混合器を取り付けしない側や、ケーブルを取り付けしやすい側へ固定してください。)



UHFアンテナや地デジ放送についてのご質問は

よくあるご質問



トラブルシューティング

症 状	原 因	処置・対策
地デジが映らない ※主に既設アンテナと本製品を交換した場合	受信不良	アンテナが送信所の方向に向いているかご確認ください。方向が正しくても受信できない場合、向きを微調整したり、設置高さを変えたり (0.5~1.0m程度) すると改善することがあります。
	接続不良	ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。ケーブル加工を行っている場合、コネクターが正しく取り付けられているかご確認ください。芯線が曲がっていたり、長すぎたり、短すぎたりすると、接続不良になることがあります。
	受信偏波違い	本製品は水平偏波受信専用アンテナです。垂直偏波は受信できません。お住いの地域の電波が水平偏波であるか、ご確認ください。
地デジが映らない ※主にテレビを新規に設置した場合やテレビの位置(部屋)を移動した場合	テレビの設定違い	チャンネルスキャンを実行してください。(詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください)
	B-CASカード未挿入	B-CASカードを必要とするテレビの場合、きちんと挿入されているかご確認ください。エラーコード (E100、E101、E102) が表示される場合はB-CASカードエラーです。
	接続不良	ケーブルや分岐・分配器が正しく接続されているかご確認ください。(主に室内) テレビの地デジ入力端子にケーブルが接続されているかご確認ください。
	信号が弱い	信号を分配したり、同軸ケーブルを長くしたりすると信号が弱くなり映りが悪くなる場合があります。この場合はブースター (別売) を使用すると改善されることがあります。
地デジが映らなくなった	受信不良	台風などの影響でアンテナの向きが変わっていないかご確認ください。送信所の方向に建物や樹木など、障害物が新たに発生していないかご確認ください。
衛星放送が映らない	受信帯域違い	本製品は地デジ受信専用アンテナです。衛星放送は受信できません。

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

ホームページアドレス <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7130031 2024年3月